

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～中学校社会科（歴史的分野）～

第2学年歴史的分野 単元名 近世までの日本とアジア

(3)近世の日本「幕府の政治の展開」(第1/4時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

幕府の政治改革の背景や結果について社会の変化との関わりに着目して考察し、表現する。  
(思考力, 判断力, 表現力等)

こんな授業になっていませんか？

【教師の発問】

社会の変化に伴い、江戸幕府は政治改革を行っています。それぞれの政治改革では、何をしたのでしょうか。またどのような結果でしたか。

教科書で調べてワークシートにまとめてみましょう。

1716年 徳川吉宗の享保の改革  
1772年 田沼意次の田沼の政治  
1787年 松平定信の寛政の改革  
1841年 水野忠邦の天保の改革

【資料】幕府の政治改革が行われた年代



【生徒の反応】

徳川吉宗は、質素・儉約を命じた。

松平定信は、儉約令を出した。

田沼意次は、印旛沼の干拓をした。

水野忠邦は、株仲間を解散させた。

それぞれの政治改革の内容とその結果について教科書に書いてあることをまとめて書けばいいのかな。

教師が問いの中で生徒が着目する視点を示さず、幕府の政治改革と社会の変化との関連について言ってしまうと、教科書に書いてある政治改革の内容を調べてまとめるだけの学習活動になってしまいます。これでは、本時のねらいに迫る授業になりません。

「見方・考え方」を働かせる意識をフラス！

「社会的事象の歴史的な見方・考え方」とは

※ 「社会的な見方・考え方」は、社会科、地理歴史科、公民科の総称であり、中学校社会の歴史的分野においては、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」として整理されています。

社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、

類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること。

※視点の例 時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなど

視点

方法

生徒が「見方・考え方」を働かせるためには

「資料」の示し方を工夫し、生徒の気づきや疑問から「問い」をつくり、生徒が課題を解決していく学習活動を設定することが大切です。

社会科の授業を考える際には、ねらいを達成するために「見方・考え方」の視点や方法に基づいた「問い」を想定し、生徒から「問い」につながる疑問が出るように資料の提示を工夫することが大切です。

どこに着目させてどんな情報を読み取らせるかを意識して資料を提示し、「どのような時代だったのか」「なぜ、起ったのか」「どのような影響を及ぼしたか」「なぜそのような判断をしたと考えられるか」など「見方・考え方」を生かした疑問を引き出し、学習課題を設定することで、課題解決的な学習へ導くことができます。

課題を解決していく過程では、生徒が既習事項や資料から読み取ったことを基に自分の考えをもち、意見交換をすることで、多面的・多角的に考察し、自分の考えを深められるようにすることが大切です。

授業を こう変える！

- ・江戸時代の年表から幕府の政治改革を取り出した資料を提示して、頻繁に政治改革が行われた時期に生徒が着目できるようにすることで、なぜこの時期に幕府の政治改革が行われたのか、「問い(学習課題)」につながる疑問をもてるようにする。…①
- ・既習事項を基に自分の考えをもち、対話する場面を設けることで、社会の変化と幕府の政治改革の関連に気づき、様々な角度や立場から考えられるようにする。…②
- ・「なぜ幕府の政治は改革が必要となったのだろうか」という問いを設定し、幕府の政治改革について調べさせることで、社会の変化との関わりに着目して、幕府の政治改革の背景や結果を考えられるようにする。…③

このような授業にしていきましょう！

【資料提示の工夫】…1



右の年表を見てください。家康によって幕府が開かれた1603年から、大政奉還によって幕府が滅ぶ1867年までの間に政治改革が行われていますが、年代に着目すると、どのようなことに気が付きますか。

1603年 徳川家康が江戸に幕府を開く

1716年 徳川吉宗の享保の改革  
1772年 田沼意次の田沼の政治  
1787年 松平定信の寛政の改革

1841年 水野忠邦の天保の改革

1867年 江戸幕府が滅ぶ(大政奉還)

【資料】幕府の政治改革が行われた年代

吉宗の改革は幕府を開いてから100年以上経っています。なぜ、4回も政治改革が行われたのだろう。うまくいかなかったのかな。



1700年代に入ってから、連続して改革を行っています。これらによって世の中は大きく変わったのかな。



〈生徒の姿〉

政治改革が行われた年代を江戸時代の大きな流れの中で捉えることで、「なぜ行われたのか」「どのような影響を及ぼしたのか」と時代背景と関連付けて考えようとしています。

【対話的な学習活動の工夫】…2



よいところに気が付きましたね。幕府を開いてから100年以上経った18世紀以降に、なぜ連続して改革が行われたのでしょうか。これまでに学習した江戸時代の社会の様子を基に、予想してみましょ。

個人で考える

五街道や航路など交通路が整備されて運送が盛んになったことで、三都が発展したね。でも、農村ではうまくいってなかったのかも。



幕府が新田を開発したり、農業の技術が発達したりするなど、生産力は上がっていたわ。手工業が発達して、町人の文化も起っていたね。武士はどうだったのだろう。農民や町人の変化が政治改革の原因なのかな。

班で交流する

商人が力をつけてきたことと関係があるのかな。



社会が豊かになってきたと思うけど、なぜ政治の改革が必要になったのだろうか？

【問い(学習課題)を解決する学習活動の設定】…3



なるほど。では、皆さんの気付きや疑問を基にして「なぜ幕府の政治は改革が必要となったのだろうか」を学習課題としましょう。課題を解決するために、見通しを立てましょ。

まずは、幕府は政治改革で何をしたのかな。うまくいったのだろうか。それぞれの政治改革について調べてみよう。



それと、改革が行われたころの社会の様子や変化が分かる資料と比較することで、政治改革の理由が分かると思うわ。



〈生徒の姿〉

これまで学習した内容を基に予想することで、社会の変化と政治改革の関連を踏まえた疑問をもっています。

〈生徒の姿〉

「なぜ改革が必要となったのか」という学習課題を立てることで、政治改革の内容や結果を調べるだけでなく、当時の社会の変化と関連付けて調べるようになります。

また、課題解決的な学習活動を設定することで、主体的に課題を追究、解決しようとしています。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

「課題解決」の場面で



「なぜ幕府の政治は改革が必要となったのだろうか」について、調べたことを基に自分の考えを書きましょう。

当時の社会は、産業の発達により農村にも貨幣が広まって農民の間で貧富の差が拡大し、百姓一揆が多く、町でも打ちこわしが起きるなど乱れてきました。幕府は倭約令を出して、人々の生活を安定させたかったのだと思います。でもうまくいかなかったようです。



江戸時代の初めのころと違って商人が力をつけ、農村ではききんが起るなど、武士はこれまでのように年貢を取れなくなってきたから改革が必要になりました。商人に目を付けた田沼の政治は、時代の変化に合っていたと思います。

〈生徒の姿〉

当時の社会の変化に着目して、調べたことを基に幕府の政治改革の内容とその背景を関連付けてまとめています。